

知って得する健康コラム～RS ウイルス感染症に気を付けましょう～

RS ウイルス感染症とは？

RS ウイルスの感染による呼吸器の感染症のことです。何度も感染と発病を繰り返しますが、生後1歳までに半数以上が、2歳までにはほぼ100%の乳幼児が感染するとされています。RSウイルスは感染している人の咳やくしゃみ、会話の際に飛び散るしぶきを浴びて吸い込むことで感染します。また、ドアノブなどの環境表面についたウイルスへの接触により、鼻や口などの粘膜や傷口などを通して感染します。

RS ウイルス感染症の特徴

- ・潜伏期間：2～8日
 - ・症状：発熱、鼻水などが数日続く
- ⚠咳が悪化する、呼吸のときにゼーゼー、ヒューヒューする、息が苦しいなどの呼吸困難症状が現れた時には要注意です。病院を受診しましょう
- ⚠もし罹ってしまったときの治療法
⇒有効な抗ウイルス剤はないため基本的には対症療法(症状を和らげる治療)です

感染を拡大させないためにできること(予防)

手洗い・消毒をすること、マスクでしっかり予防することが大切です。下の画像「咳エチケット」も参考にしてください

咳エチケット



正しいマスクの着用



(厚生労働省ホームページより)